

記者提供資料
2024年(令和6年)2月1日
市民生活局 文化・スポーツ室 文化振興担当 歴史文化財係 (稲原・下城)
電話918-5629 内線7545

## 大久保町松陰新田で2基の古墳が新たに見つかる

このたび、江井島松陰新田線道路新設工事に伴う発掘調査において、新たに古墳の周溝が発見されました。

今回検出された2基の古墳は、本市ではこれまでその存在が知られていなかった時期(5世紀後半)の古墳であり、周辺の古墳群とあわせて、この地域における当時の豪族層の動向を明らかにするうえで重要な発見となりました。詳細は下記のとおりです。

### 記

#### 1 調査地(別紙1参照)

- ・明石市大久保町松陰新田に所在
- ・宗賢神社の南西約400m、南東から北西に延びる丘陵の南西に広がる裾部の平坦地
- ・標高約27.3mの段丘上に立地
- ・調査面積は1029㎡

#### 2 古墳の名称

さんばんわり  
三番割古墳群 1号古墳(北側の古墳)・2号墳(南側の古墳) (別紙2参照)

#### 3 特徴

##### (1) 1号墳・2号墳ともに

- ・上部が後世に削平され、周溝のみが残存
- ・形状は円墳、直径約14mと推察
- ・出土した埴輪などから5世紀後半に作られたものと推察

##### (2) 1号墳の周溝

- ・幅約2m、深さ7cmが残存
- ・埋土から土師器や円筒埴輪の破片が出土

##### (3) 2号墳周溝

- ・幅3m、深さ約15cmが残存
- ・周溝内から須恵器はそう甕と円筒埴輪の破片が出土

#### 4 他の古墳との関連性

当地より南東の段丘上には、出合古墳群(5世紀後半～6世紀前半)が位置しています。また、北東の丘陵の尾根上にも、調査はされていませんが古墳があるとされています(松陰新田古墳群1～3号墳)。今回発見された2基の古墳との距離はいずれも400mあり、これらの古墳群との関連性について、今後出土遺物の比較等を通して探っていきたいと思っています。

#### 5 明石市内の主な古墳

- (1) 幣塚古墳(4世紀後半)・魚住町
- (2) 寺山古墳(6世紀前半)・魚住町
- (3) カゲユ池古墳(6世紀前半)・藤江 など 11例

#### 6 その他

##### (1) 現地説明会

日時:2024年2月10日(土) 10時半～12時

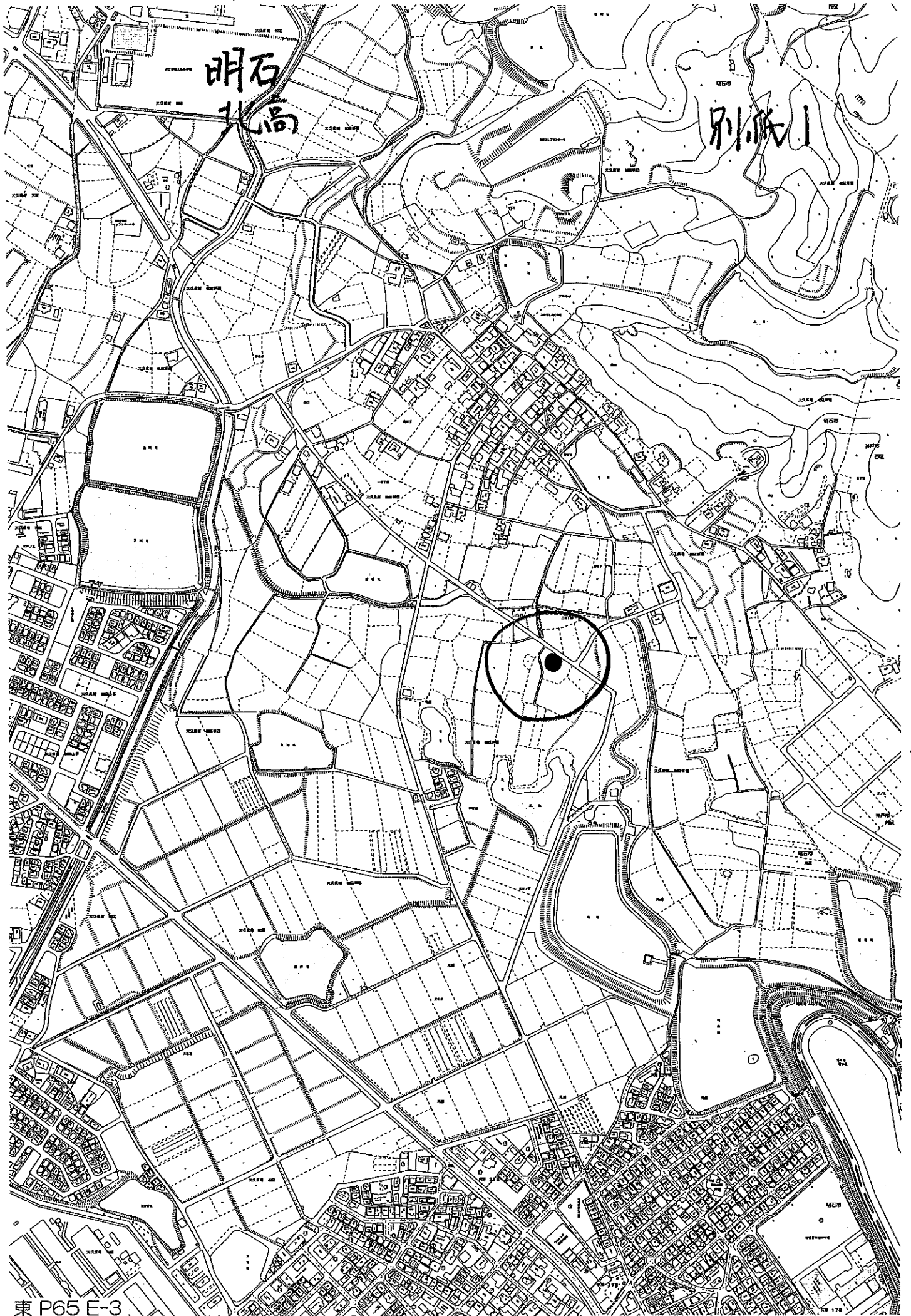
場所:明石市大久保町松陰新田(別紙1参照)

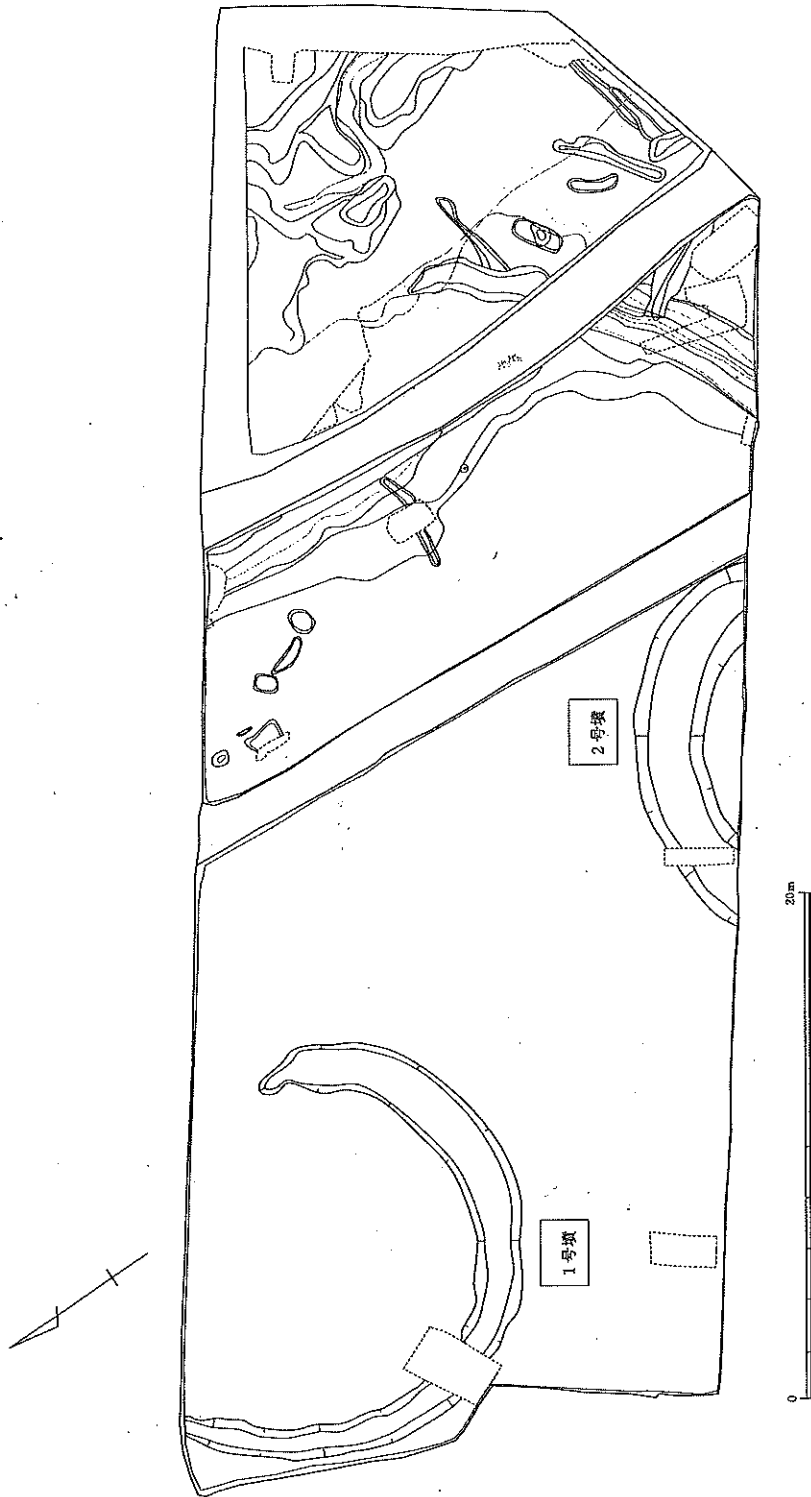
##### (2) 出土した遺物の展示

日時:2024年2月15日(木)～3月24日(日) ※休館日:月曜日

場所:魚住文化財収蔵庫(明石市魚住町西岡 2119番地の23)

内容:出土した遺物の一部と遺跡のパネル





松陰新田遺跡 第2地点 三番割古墳群1・2号墳 平面図 (S=1/300)



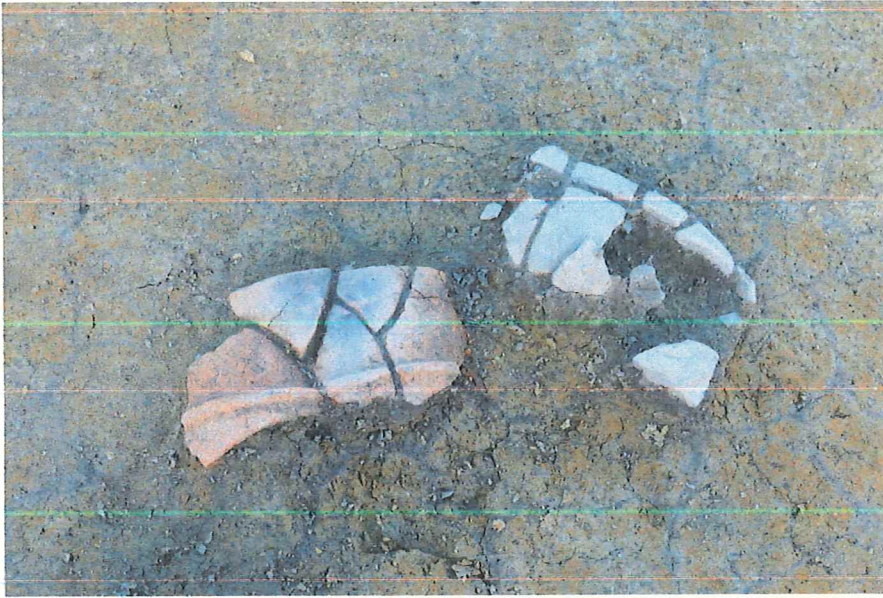
1号墳検出状況



2号墳検出状況



2号墳埴輪出土状況



2号墳埴輪検出



作業状況



埴輪検出状況